

(午前 10 時 30 分 開会)

1 自己紹介

委員及び事務局が自己紹介を行った。

2 協議事項

(1) 委員長等の選出について

久野委員の推薦により長澤委員を委員長に決定した。

長澤委員の指名により安藤委員を副委員長に決定した。

(2) スポーツ推進計画の令和 7 年度施策評価について

事務局から資料に基づき説明を行った。

(長澤委員長)

ただいまご説明いただきましたことにつきまして、ご意見やご質問等がございましたらお願いいたします。

(小野委員)

アジア競技大会について質問ですが、市内小中学生は全員が観戦に行くといったことは行うのでしょうか。

(事務局)

市内小中学生につきましては、県の教育委員会から希望調査があり、希望のあった横須賀小学校と加木屋中学校は観戦に行くことになっております。

(小野委員)

希望してないところは行かないということでしょうか。

(事務局)

そのとおりです。

(小野委員)

梶江委員に伺いますが、希望を出さない学校についてはどういった理由があるのでしょうか。

(梶江委員)

調査方法によるところがあり、希望調査の段階ではどの日付に観戦に行くかははっきりしていませんでした。平洲中学校では希望が通ったときに、学校行事等と重複することを懸念して見送りをしています。

(事務局)

もう一点、市内のバスが組織委員会の方で押さえられており、交通手段を気にされたというところがあります。加木屋中学校は例外になりますが、横須賀小学校はその点を気にせず歩いて観戦に行けることも、希望をいただいている一つの理由かと思えます。

(小野委員)

わかりました。ありがとうございます。

(長澤委員長)

久野委員には、いつもアスリートの発掘のためにご尽力いただいております

が、何かございますでしょうか。

(久野委員)

私は加木屋小学校区の方で軟式野球少年チームの代表を務めておりますが、スポーツの裾野も広がっており、昔のように野球、サッカーチームに子どもたちが集まるという状況ではなくなってきています。

それとは別に子ども教室での指導も小学校で行っているのですが、そこに参加した子どもたちが興味を持ってチームに入るといような、スポーツに携わる形ができるといいなと思っています。

その一方で、子どもがやりたいと言っても親御さんは、送迎や金銭面など様々な面での負担を気にされます。

その点も踏まえて、少しでも参加しやすい環境を作らないと駄目だなということで、企業から協賛いただいて、ユニフォームをリースで無償提供したり、車出しをお願いする場合には、チームとしての規定でお支払い、足りない部分はその協賛金の中でお支払いするなど極力負担を減らすことをしています。どんなスポーツでもそういう環境整備も大事なんですけど、その過程の中で、理解を深めるような活動をするということも必要ではと思います。

(長澤委員長)

ありがとうございます。親御さんの負担は経済的なところを気にされることが多いのでしょうか。

(久野委員)

そうですね。グローブなどの道具を揃えようと思っても結構なお金がかかります。そういうところを踏まえて少しでも負担を減らそうと思うんですけど、なかなかそのあたりが難しいなというところです。

(長澤委員長)

ご意見ありがとうございました。そうしましたら、資料に基づいて進めさせていただきます。

施策Ⅰのスポーツライフの推進について、年代によっては少しずつ数値の高い年、低い年がありますが、大きな変化はないかなと思います。家族で参加できるイベントを開くといったこともありましたが、何か新たな取り組みが決まっているといったところだとかは市のほうであるのでしょうか。

(事務局)

具体的に新たにこの事業を行うと決まっているものは現状ありません。実施するイベントや場所によって参加者層も変わると思うので、既存のイベントの開催場所や、比較的家族で参加しやすいニュースポーツのイベントの実施方法や内容など、そういったところから考えを広げていければというところです。

(長澤委員長)

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。では、次に参ります。

施策Ⅱアスリート活動の推進というところで、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

ないようでしたら、次に参ります。

(長澤委員長)

基本施策Ⅲ、スポーツによる交流の推進について、ご意見いかがでしょうか。

安藤委員についてはアダプテッドスポーツという分野にも詳しいと思いますが、そのあたり踏まえて何かありますでしょうか。

(安藤副委員長)

私の専門がパラスポーツで、もちろんパラスポーツのトップを目指す方もそうなんですけども健常者も一緒に関わるというところをやっています。

日本福祉大学の活動でいいますと、ボッチャ大会っていうのをやっていて、トップを目指す人から、家族で参加する方までいたりですとか、そういった何かインクルーシブな場を提供してたりはするので、こちらでも同じようなニーズがあればぜひ協力できるといいかなと思います。

(長澤委員長)

ありがとうございます。パラスポーツという点でいいますと、森山委員ご意見ありますでしょうか。

(森山委員)

年に1度、県のボッチャ大会に伺うのですが、そこにはいろんな障害の方が一緒に参加されて、楽しんでいる場面をよく見るのですが、東海市に帰ってくるとなかなかボッチャをやる人が少ないと感じます。協議会にもボッチャクラブはありますけども、高齢の方がほとんどで、なかなか競技するところに行くまでに、足の問題とか、いろんなことがありましてなかなか参加率も厳しいです。なかなかみんなで作るところが難しくなってきましたので、できれば若い世代を取り込んで、やっていければと思うんですけど、なかなか厳しい状況にあります。

障害者がそういったスポーツに参加できる機会や場所もなかなかないので、障害者スポーツに対してもっと行政も力を入れていただきたいとは常々思っております。

(長澤委員長)

ありがとうございます。

この委員会を挙げて何かご協力できることがあれば、どんどんご意見いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

その他いかがでしょうか。

(久野委員)

交流活動という中で、難しいかもしれんが、企業対抗のテニス大会やゴルフ大会だとか、そういった企画に参加していただく、それによって市内の企業の人的交流とか、そういったことができないかなと思います。

町民ゴルフ大会をやっているところもあると聞きます。東海市にそういう施設がないのもありますし、スポンサーをつけるなどのいろんな活動が必要かもしれないませんが、スポーツ活動に参加していただいて交流するようなもので、どこか音頭を取ってやれるとよいのではと思います。

スポーツクラブ東海の方にも協賛してくださる企業がいるので、そういったところから投げかけてもらって、テスト的にでもできないかと思います。

(長澤委員長)

企業的な立場で、高谷委員いかがでしょうか。

(高谷委員)

企業として参加という形になると、企業の中で誰を選ぶかみたいなのがあるので、主体が大きくなると難しい部分はあるかと思います。例えば企業の中でゴルフ同好会とかゴルフ部みたいなのがあって、そこが企業の代表として出ていくというのであればいいですけど、企業として参加となると、ちょっとどうかかなと思います。

(久野委員)

そういうことであれば個人で参加であればいいですね。

(高谷委員)

そうですね。周りでゴルフやっている人に一緒に市の大会だからとか、スポーツ振興の一環としてできた大会なんで行きましょうというような誘い方はできるかなと思います。

(長澤委員長)

ありがとうございます。そういった形で進めるのであればできたら東海市でできる種目をまずはやった方がよいのかなとは思いますが。その他ご意見いかがでしょうか。他になれば次に参ります。

施策Ⅳスポーツに親しむ場の整備ということで、ご意見等ございましたらよろしく願いいたします。

(梶江委員)

施策の評価のところで、先ほど各スポーツ施設の維持管理のみならず、身近な公園整備や学校のスポーツ開放の充実等の需要が高まっているものとあったんですけども、学校の方から見ると小中学校体育館の方、冷暖房が入って使いやすくなっているかなと思う反面、逆にグラウンドの方が非常に荒れてきているという現状があります。

管理責任はもちろん私どもにあるんですけども、子供の数も少しずつ減ってきていて、部活動も縮小の傾向にある。土日は地域のクラブの方で使ってもらったりするんですけども、荒れてきているのが現状で、需要が高まっている一方でグラウンドの維持ができないというところが心苦しいです。

ふるさと大使で愛知製鋼の陸上競技部の方が見えたときも、これで走るのは

大変ですねと言われてしまうこともありましたし、グラウンドの維持について
今後はスポーツ課や学校教育課等と協力して考えていってもらえるとありがたいなという要望になります。

(長澤委員長)

大きな要因はグラウンド使用率が減ったっていうところでしょうか。

(梶江委員)

それが大きいと思います。

今日みたいな暑い日ですと子どもたちを外で遊ばせることもできませんし、
どうしても小学校の方でも遊べる時間が短くなります。きっと使っている団体
さんも一生懸命整備に協力してくださってると思うんですが、それでも維持が
難しい状況になっています。

(久野委員)

維持というと雑草ですか。

(梶江委員)

それもあります。グラウンド自体もでこぼこになるので車を走らせての整備
ですとか色々なことをやるんですけど維持が難しいところもあって、一つずつ
きちんとグラウンドの整備をしていかないと、ちょっと心配かなと思います。

(久野委員)

自分のことばかりで大変恐縮ですが、加木屋小学校の場合は、グラウンドを全
面的に使っていて、サッカーも同じように使用しています。学校からは子供は遊
べて、グラウンドも維持できるんで、いつもありがとうございますと言ってい
ただくこともあります。

自分もお世話になってる面もあるので、草刈りをやっているのですが、ボラン

ティアで声をかけたりすれば、そういったことに手上げる人もいるんじゃないかと思いますが、これは学校教育課になるのかわかりませんが、そういうことを地域に投げかけるようなことをしていった方がいいのではないかと思います。

(長澤委員長)

ありがとうございます。早川委員いかがでしょう。

(早川委員)

環境整備というところでいうと、市民体育館についてです。現在の市民体育館は古い施設で、毎年お金をかけて直していると思うので、優先的にやってほしいです。素人考えですけど、元浜の土地が空いているのであそこに新しいものを建てればいいのではないかと思いますし、今のところを更地にして、30年40年後かに順番に場所を一番お金がかからないのではと思います。

さきほど相江委員が仰ってましたが、気候的に外で遊ばせられないという状況が続くと、屋内で運動ができる体育施設っていうのがこれからポイントになると思いますし、近い将来この問題は出てくると思います。

(長澤委員長)

施設に関するご意見ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

(久野委員)

放課後児童クラブでも学校に行くことがあるのですが、学校の備品がもう少し充実するとよいのかなと思います。サッカーボールだとかはよく置いてありますが、例えばバドミントンですとか、子どもが家庭でもやれるようなものに触れる機会があるとよいと思います。

指導せずに道具が置いてあるだけでも、子どもが自分達で遊びますし、そういった道具のところも洗い直していけると、学校開放の施設利用者にとってもよ

いですし、子どもがスポーツに触れる機会も増えるのではと思います。

(長澤委員長)

いろんな子供たちが遊べるようにそういったダイナミックな手法から、市で貸出をしているモルックの様に運動が苦手な子でもできそうなものもあると、充実してくるかもしれません。

その他いかがでしょうか。ないようであれば、資料のとおり令和7年度施策評価とさせていただきます、次の議題に参ります。

(3) 令和8年度の主な事業について

事務局から資料に基づき説明を行った。

(長澤委員長)

ありがとうございます。まず私の方から基本施策1のスポーツライフの推進ですけれども、一点記載漏れがあります。今年度よりアメリカンフットボールができる教員が動いておりまして、現在学内でメンバーを集めているのですが、アメリカンフットボールができない、スポーツがちょっと苦手な子たちもいる関係で、フラッグフットボールをやっていこうかという話になっております。

次のアメリカで行われるオリンピックですけど、非公式ではありますがフラッグフットボールが行われるということで、東海市の子供たちも少し集めてやってみたいという教員の意見もありまして、そういったものを記載して提出しようと思ってましたけれども、漏れがございました。申し訳ございません。

(早川委員)

フラグフットボールとはどういった競技でしょうか。

(長澤委員長)

ラグビーのタックルのないバージョンで、腰に紐を垂れ下げて、それを取ったらタックルが成功した扱いになるというような種目です。

(森山委員)

ふれあいスポーツ大会について報告ですが、令和7年度は10月4日に市民体育館で行いまして、参加者数200人ほどが集まってやったんですけども、その中身としてはゲーム方式のような形で行って、親御さんたちも一緒に楽しんでいただいていたと思っております。また、令和8年度については、アジア競技大会の関係で、令和9年2月6日に市民体育館で開催を予定しております。

(長澤委員長)

ありがとうございます。一つご質問させていただきますと、ふれあいスポーツ大会の中身というのは、資料にある卓球部、吹き矢部、ボッチャ部とありますが、この種目をやっているのでしょうか。

(森山委員)

そういう訳ではなく、知的障害の方、身体障害者の方が一緒にやる上で、皆さんで楽しめるように、輪投げ、カラーリング、車椅子体験、今流行りのeスポーツなどを行いました。

知多地域にもそれが普及して、去年は武豊のファミリースポーツ大会にも参加させていただいたんですけども、そういった楽しんで体を動かす機会があるとよいなと思います。スポーツの環境の整備というところでも障害者みんなが楽しくやれる場所がもっと身近にあるといいかなと思います。

(長澤委員長)

ありがとうございます。小野委員何かありますでしょうか。

(小野委員)

中学校の部活動の地域展開について、8年度以降の取り組みについてどのように考えていますか。

(事務局)

それぞれの中学校単位で今までやれていた種目ができていない状況ではあるので、全てとは言いませんけども、もうちょっと増やしていけたらいいなと思っています。そうすると、スポーツクラブ東海さんの協力も必要になってくるので、今後ともご協力をよろしくお願いしたいと思います。

(長澤委員長)

この数年で人材バンクについても、枠組みは出来まして、登録してくださる方も何名かいらっしゃるんですが、その団体さんがじゃあお願いしますというところには、行き着いていない状態なので、そのあたりのマッチングも上手く進むとよいと思います。

その他いかがでしょうか。ないようでしたら次の議題に参ります。

(4) スポーツ推進計画の推進について

事務局から資料に基づき説明を行った。

(長澤委員長)

ありがとうございます。何かご意見等ありますでしょうか。

(森山委員)

第4期スポーツ基本計画での共生社会という部分について、障害者がいろんな場所でスポーツをする上で段差が多かったり、様々なことに敏感な方がいますので、障害の程度に応じた環境整備を重視していただきたい。車椅子なんかでも狭かったりですとか、当事者の身になった整備がされていないと感じます。施設を新しく作るうえでも、障害者の声を事前に聞いてそれを活かしていただきたく、今後そういったところをお願いしたいです。

(長澤委員長)

ありがとうございます。森山委員のお話はバリアフリーというところだったんですけども、私も大学でカラーバリアフリーというのものを考えながら授業を行っています。

授業のスライドなんかもそうですが、スポーツでいうと体育館の色と同じような道具を使うと、突然道具が飛んでくる、ボールが一瞬消えてしまうとか、そういったこともあります。女性は、数百人に1人なんですけども、男性の場合は30名程度に1人の割合でそういった障害を持ってしまうということですので、車椅子などに対するバリアフリーも大切だと思いますが、そういったカラーバリアフリーという観点もご参考にしていただければと思います。

あと今日ここに到着するまでにウォーキングポールを使いながらメルヘンブリッジを歩いてる方がいたり、大学のテニスコートの横でもポールを持って歩いている方が見えたり、もしかしてこういった貸し出しからご自分のものを購入されたりだとかもあるのかなと考えたりもしているんですが、そういった部分の充実感も図っていければなと思います。

その他いかがでしょうか。

(久野委員)

環境整備について、スポーツに関することで地域の意見なり情報を吸い上げるという手段はあるのでしょうか。地域でウォーキングをするところでも街灯がなかったり、道の舗装の問題があったり、そういった身の周りで感じていることを吸い上げる目安箱みたいなものが、例えば小学校やコミュニティにあると、その情報から運動しやすいなとか、安全にできるなというところに繋がるのではないかと思います。

もう一点、指導者について、現在の指導者をやられている年代の方でも、自分自身が水も飲めないような厳しい指導を受けてきたことで上手くなったことを成功体験としているようなケースがあります。

最近聞いたところによると、クラブチームで、自分のスマホを上級生にいたずらされて、チームは上級生側の意見をもって対応して、被害者側は話も聞いてもらえなかったと辞めてしまったりですとか、たばこを吸っていないのに吸ったと言われて、それに対するチームの対応に不満を感じて辞めてしまったといった話を聞きます。

そのあたりを踏まえてハラスメントのところには相当注意して人材の確保と指導をしていく必要があると思います。

(長澤委員長)

ありがとうございます。現在だと指導資格をとるためには講義を受けていますが、一度受けた方はもう受けないのでしょうか。

(事務局)

スポーツクラブ東海に所属している指導者については、3年に一度講習を受ける必要があったかと思いますが、一度受けたらそれでおしまいというわけ

ではなく、定期的に講習を受ける体制にはなっています。

(小野委員)

部活動の地域展開に関しては、今後クラブ自体の認定も必要になります。ある程度の講義・研修をうけないとクラブは参加できないという状況になりますし、今後状況も変わってくるので、2，3年に一度はそういった講義等を受けてもらわないといけないと思っています。

(長澤委員長)

ありがとうございます。

久野委員から先ほどの地域の意見の吸い上げを内容もあったのですが、どちらかというと町内会長から市の方に上がっていくような話じゃないのかなと少し感じました。

(橋委員)

その点に関しまして、スポーツに関して特化したものではないのですが、東海市ですと市政提案箱という紙で記入して投函する窓口が市役所としあわせ村にあり、ホームページからも提出可能です。

頂戴した案についてはすべて広報課が窓口になるんですけども、そこから担当部署に送られて市長まで決裁を取り、その対応までを一貫してやっております。様々な提案がありますので、細かな意見まですべてというのは難しいですが、そういった形で、町内会などを通さずに個人のご意見を頂戴する窓口はございます。

(事務局)

補足になりますが、市政提案という形で本日も1件受けてますので、その制度を通してご意見を頂戴しているという例はございます。

(久野委員)

議論の中でも、スポーツクラブ東海、教育委員会、市といった大きいことが話としてあがりますので、細かいところまで意見を吸い上げられたらなという思いがありました。

(長澤委員長)

ありがとうございます。

その他意見ありますでしょうか。ないようでしたら、次の議題に参ります。

3 その他

(事務局)

東海市スポーツ推進計画の冊子ですが、掲載内容が計画当初の古い内容のままになっている部分があります。現状では冊子の刷り直しを考えておりませんが、内容を簡易的に修正したものをホームページに掲載する等の対応を検討しておりますので、ご承知おきください。

また、次回会議につきまして、令和8年10月ごろを予定しております。

(長澤委員長)

それでは皆様から全体を通して何かご意見ご質問等ございましたらよろしく願いいたします。

ないようでしたら、以上をもちまして第1回東海市スポーツ推進会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

(11 : 50 閉会)